

国分高校通信〈第22号〉

平成30年度版

平成30年12月14日(木)

鹿児島県立 国分高等学校

霧島市国分中央2丁目8番1号

TEL 0995-46-0001



総文祭九州大会出場者紹介



百人一首部

日置大誠くん（山田中学校出身）

10月5日にあった県大会個人戦でベスト8に入り、12月8・9日に県武道館であった総文祭九州大会に出場しました。私は小学校5年生のときに、国語の授業で百人一首と出会い、その魅力に引き込まれました。百人一首部は部員12名で活動しています。百人一首の魅力は、平安時代の文化に触れあうことができること、ゲーム的な楽しみがあることです。上達するためには、記憶力・忘れる力・精神力・反射神経が必要です。「忘れる力」は、本番で試合のたびに、前の試合の札のことを忘れ、気持ちを切り替えるために必要です。九州大会はさすがに層が厚く、壁を感じましたが、宮崎県代表になんとか1勝することができました。百人一首はA～E級があり、私は現在D級です。23日に宮崎で公認大会があり、C級にチャレンジします。結果を残せるようにがんばります。



放送物理部

坂元遙さん（牧之原中） 尾崎萌香さん（隼人中） 野間早紀さん（横川中）

私たち放送物理部は、10月31日にあった県大会に「テレビ番組部門」で参加し、優秀賞（県2位）を受賞し、九州大会に出場しました。番組のタイトルは「負けなぞ！」で、地学の若松先生が気象予報士の資格を持ち、サイエンス部の生徒たちを全国大会に連れて行かれるすばらしい先生なので、その魅力を伝えたいと思い作りしました。「負けなぞ！」は「生徒に負けないように頑張りたい」という先生の思い、「先生に負けたくない」という私たちの思いをこめました。結果は優良賞で、来年8月にある全国総文祭に出場できることになりました。大会ではまた新しい作品を作って参加しますが、テーマが「ふるさとの魅力を伝える」なので、鹿児島に来たことがない方に来たいと思ってもらえるような作品を作りたいです。九州大会に出場して、レベルの高い作品に触れ、自分たちの未熟さも痛感しました。いろいろなところで取材をし、勉強し、自分たちの思いを伝えることは番組作りの醍醐味です。これからも楽しんでいい番組を作りたいです。



向花小学校持久走大会ボランティア



12月8日(土)、素晴らしい天候のもと、向花小学校持久走大会が開かれ、国分高校陸上部がボランティアとして大会サポートを行いました。それぞれの集団の先頭を先導したり、最後尾の生徒を励ましたりしました。一生懸命走る小学生を見て、自分の小学生時代を思い出して、楽しかったです。小学生が走るのは楽しいと思ってくれたらうれしいです。



(2年生 茶園優輝君 中原愛結さん)

